

第4回農業活性化特別委員会

日時：平成27年12月3日（木）午前10時35分～

場所：市議会委員会室

- ◎ 第2回委員会での意見等を踏まえ、市の平成27年度の農業行政、事業等がどのように実施されているか、担当部局より報告を受けながら質疑を行った。
また、第3回委員会で実施した視察研修を踏まえた総括を行った。
その後、今後の本委員会の開催内容等を協議し活発な議論を行った。

1) 平成27年度の市の農業行政等の取組みについて

関係部局の担当者に出席を求め、次の点について説明を受けた。

【経済部・地域ブランド対策室より】

- ① 6次産業化を進めるための会員への指導・研修の実施（食産業ネットワーク）
- ② 新規就農者支援
- ③ ブランド化を地域内に浸透を図るための試食会等
 - ・木造中学校生徒へのプレミアムメロンの試食
 - ・ブランド8品目カレーの試食会
- ④ メロン一坪オーナー・リンゴ一枝オーナー事業の実施状況

【農業委員会より】

- ① 担い手への農地利用の集積・集約化の加速
- ② 農地パトロール等による遊休農地の解消

【上記に対する委員の主な意見】

- ・新規就農者が、地域の農家のリーダーとなれるよう指導を徹底する。また、制度の在り方の検証をしながら農家へ支援を行うこと。
- ・一坪メロン・一枝リンゴ事業を拡大していくため、ブランド化の気運を高めながら協力していただける農家を増やすための取組みが必要。
- ・いろいろな方からの意見を聞くための集会の開催が必要（小規模な集会）。
- ・飼料米と組み合わせて販売できる作物の作付による、米作農家の転作奨励の検討。
- ・農地集積・集約を進めるため、借り手間で協議ができる場の設定を検討。
- ・遊休農地解消のためには、「苗代」の活用等、検討が必要。

2) 視察研修の総括

当委員会では、農業担い手の育成等に積極的に取り組んでいる山形県酒田市へ、次のとおり視察研修を実施しました。

- ・ 日 時 平成 27 年 7 月 27 日～7 月 29 日
- ・ 視察先 山形県酒田市役所・(株)和農日向・JA 庄内みどり八幡支店
- ・ 内 容 ①農業担い手の育成に関する取組み
②農業行政の広報活動等
③農業経営体の組織化、法人化への取組みについて ほか

【研修結果の主なまとめ及び意見】

- ・ 酒田市の農業の方向性・ビジョンがはっきりしている。
- ・ 事業展開の考え方、取組み方の方向が、農家、農協、市、県、関係機関において同一である。
- ・ 担い手育成を協議する組織に、下部組織（サポートチーム）があり定期的な会合を持ち情報交換しながら支援活動を行っている。
- ・ 農地の集積等のため、農協、農業委員会、土地改良区、共済組合、認定農業者会が連携して、農地の出し手、受け手のマッチングを行っている。
- ・ 後継者不足解消のために、婚活にも取り組んでいる。
- ・ 市担当部も研修に同行させ、先進事例をもっと研修させるべき。

3) 第 5 回の委員会について

農業の活性化のためには、広く意見を聞く必要があるとの意見があることから、委員が農業関係団体等へ出向いて意見交換会を実施していくこととした。

そのため、各団体へ開催に向けて働き掛け、日程の調整が出来次第、意見交換会を行うこととした。（予定：平成 27 年 1 月中）